

## 特長

- ・DC12Vのモーターサイクルとe-HEATジャケット(ベスト)とグローブを接続するためのケーブルです。
- ・走行中はバッテリー残量を気にせずe-HEATを使用できます。
- ・カールコードを採用しケーブルがかさばりません。

## 使用上の注意

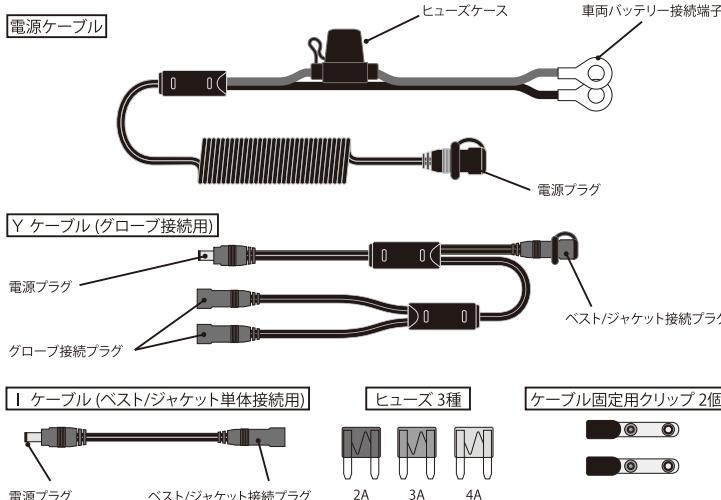
- ・取り出したケーブルが車両のシートやフレームと干渉しないようにしてください。ケーブルの被膜が破損し、発熱、発火、故障の原因となります。
- ・使用時のケーブルの長さを調整してください。たるみ過ぎるとタイヤ、マフラーに干渉します。短すぎると乗降時や運転操作の妨げになります。
- ・乗車してからケーブルとジャケット、グローブを接続してください。降車はケーブルを外してから行ってください。
- ・車両を移動させる時、チェーンや車輪へのケーブルの巻き込みに注意してください。
- ・使用時または降車時にケーブルが熱いエンジンやマフラーに接触しないようにしてください。
- ・車両のエンジン停止状態で使用を続けるとバッテリーあがりの原因となります。

## お手入れのしかた

- ・接続する前に本製品の端子をペーパータオルまたは乾いた布でふいてください。
- ・6ヶ月に1回は本製品の端子をペーパータオルまたは乾いた布でふいてください。
- ・本製品の端子内にホコリやゴミが入った場合はエアスターで掃除してください。

## 各部の名前

内容物に不足が無いか、作業前にご確認ください。

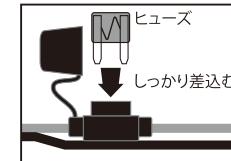


## 電源ケーブルの取り付け方法

### ヒューズをヒューズケースに取り付けます

付属のヒューズをご使用になる製品に合わせてケーブルにセットします。

同時に使用する製品の組合せ方	ヒューズの色	ヒューズの数字
グローブのみ	紫色	3A
ジャケットのみ、ベストのみ	灰色	2A
ジャケット(ベスト)とグローブ	ピンク色	4A



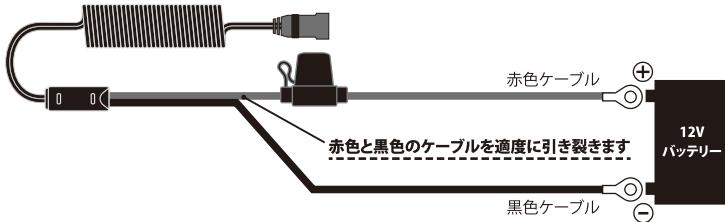
間違ったヒューズを取り付けるとヒューズが切れ、製品が使用できなくなったり、また異常発熱を防ぐ保護機能が働かなくなります。



ヒューズをセットした後、キャップをしっかりとしめます。水やほこりが入ると故障の原因となります。

### 12Vバッテリーに接続します

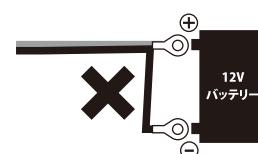
- ① 車両バッテリーのマイナス電極を外し絶縁状態にします
- ② ケーブルを適度に引き裂き、赤色ケーブルをプラス電極に車両ケーブルと規定トルクで共締めします
- ③ 黒色ケーブルをマイナス電極に①で外したケーブルと規定トルクで共締めします



- ・マイナス電極を絶縁状態にしてから作業を行ってください。
- ・プラス/マイナスの極性を間違えると故障の原因になります。
- ・電極に過度の力が加わると、電極の破損、短絡による車両故障の原因になります。



- ・接続後のケーブルはバッテリーの電極付近で交差しないようにしてください。
- ・振動によって被膜が傷つき短絡することで車両の火災または破損の原因になります。



## ⚠ 警告

🚫 保管、使用中に発熱、変色、亀裂、変形、異臭などの異常がある場合は使用しない

発火、破裂、けがの原因となります。

🚫 お風呂などの湿度が高い場所では使用しない

発熱、感電、故障の原因となります。

🚫 踏みつけたり落とさせたりして強い衝撃を与えない

変形して、発熱、発火、感電、故障などの原因となります。

🚫 可燃物や重いものを載せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない

発熱、発火、感電、故障の原因となります。

🚫 引火、爆発のおそれがある場所では使用しない

爆発や火災の原因となります。

🚫 濡れた手で使用しない

発熱、感電、故障などの原因となります。

🚫 取り付けたまま洗車しない

発熱、感電、故障などの原因となります。

🚫 使用後の接続端子を濡らさない

発熱、感電、故障などの原因となります。

🚫 本体に金属や鋭利なものを差し込まない

発熱、感電、故障などの原因となります。

## ⚠ こども禁止

こどもや取り扱い方法、危険を十分理解していないものに触れさせない

## ⚠ 乳幼児の手の届かないところで使用する、保管する

感電やけがの原因となります。

## ⚠ 指定のヒューズサイズを取り付ける

指定以外のヒューズを取り付けるとヒューズが切れ動作しません。または定格を超える電流に対して保護

機能が働かず、接続した製品が破損、発熱、発火、けが、やけどの原因となります

## ⚠ 注意

🚫 取り付けには専門知識が必要

製品の取り付けには車両の整備上の基本的な技能、知識等を有する人（販売店、整備資格保有者）が取り付けを行うこと。

## ● 実施

- ・作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行うこと。
- ・作業する際は、車両のメインキーを OFF にし、必ずバッテリーのマイナス端子を外すこと。
- ・取り付け前に、本製品の構成内容や仕様などに不備がないか、必ず確かめること。
- ・純正部品の取外し、取り付けについては車両純正のサービスマニュアルに従い正しく行うこと。
- ・取り付け後は走行前に各部異常がないか毎回点検を行うこと。
- ・異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、ご購入の販売店または整備工場に相談すること。

🚫 車両のメインキーが ON の状態、またはエンジン回転中にバッテリーケーブル、その他電装品の結線をはずさない。破損、発熱、発火、故障の原因となります。

🚫 エンジン停止状態で接続機器を使用しない

バッテリーあがりの原因となります。

🚫 落下しやすい場所、ほこりの多い場所に置かない

破損すると発熱、発火、感電、故障などの原因となります。

## ⚠ 0 ~ 45°C の範囲で使用する

この範囲外での温度での使用は、破損、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。

## 🚫 無理な力をかけない

変形して、破損、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。

## ⚠ 余った接続ケーブルは車両内で適切に処理すること

余ったケーブルが車外に出ると、車輪やチェーンに干渉し転倒の可能性があります。また転倒によりケーブルが破損した場合、ケーブルがフレームと干渉し、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。

## ⚠ 本製品とジャケット、グローブを接続したまま車両から離れないこと

本製品に無理な力がかかる結果、車両が転倒し、破損、けがの原因となります。

## ⚠ 車両バッテリー端子の取り付けボルトは車両メーカー規定のトルクで締め付けること

ボルトの締め付けが緩いと、走行中の振動や衝撃が加わることでターミナルの浮きが発生し、ターミナルとバッテリーポストの間でスパークが発生し、バッテリー端子に塗布されたグリースやターミナルカバーに引火する原因になります。

## ● 1ヶ月以上使用しない場合は本製品を取り外すこと

変形して、発熱、発火、故障の原因となります。

## ● 乗車前に毎回バッテリーターミナルとケーブルに異常がないか点検する

ケーブルの接続が緩む、または、変形、変色、亀裂があると発熱、発火、故障の原因となります。

## 安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください。

誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を説明しています。



死亡や重傷\*1を負うおそれが大きい内容です。



死亡や重傷を負うおそれがある内容です。



軽傷\*2を負うことや、財産の損害\*3が発生するおそれがある内容です。

\*1重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

\*2軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが、やけど、感電を示します。

\*3財産の損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



注意喚起を促す内容があることを告げる図記号です



禁止の行為を告げる図記号です。



行為を強制したり、指示したりする内容を告げる図記号です。



説明書熟読

誤った扱いをすると車両損傷、死亡または失明やけがなど重大な障害に至る原因となります。

① 分解、改造、修理、折り曲げをしない

発熱、発火、感電、故障、けがの原因となります。

② 指定の製品以外を接続しない

発熱、発火、感電、故障、けがの原因となります。

③ 水に濡らさない

水、海水、ジュースなどの液体が入ると、内部短絡して、故障、発熱、発火、けがの原因となります。

④ ヒューズ、プラグを濡らさない

発熱、感電、故障、発火、けがなどの原因となります。

⑤ 車両バッテリーおよび本製品の端子を短絡させない

金属製のネックレスやヘアピン、ボルト、ナット、アースされた車両フレーム等が触れないようにしてください。短絡して、故障、発熱、発火、けがの原因となります。

⑥ 入力と出力を逆に接続しない

短絡して、故障、発熱、発火、けがの原因となります。

⑦ 高温の場所で保管、使用しない

炎天下の車内、火のそば、ストーブのそば、エンジンやマフラーのそば、直射日光の強い場所など高温になる場所に置かないでください。変形、故障、けがの原因となります。

⑧ 接続端子の脱着には端子部分を持ち確実に行う

ケーブル内部の短絡、断線、発熱、発火、けがの原因となります。

⑨ 接続端子側のケーブルは適切な距離を保てるようにプラスとマイナスを割いて処理すること

接続端子側のケーブルはプラスとマイナスを適当に割いて使用します。車両バッテリーに接続したプラスとマイナスのケーブルは絶対に交差させないでください。ケーブルが振動などで被膜が傷つくとフレームと干渉し、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。

⑩ ケーブルは車両内で適切に処理すること

ケーブルの被膜が破損した結果、ケーブルがフレームと干渉し、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。